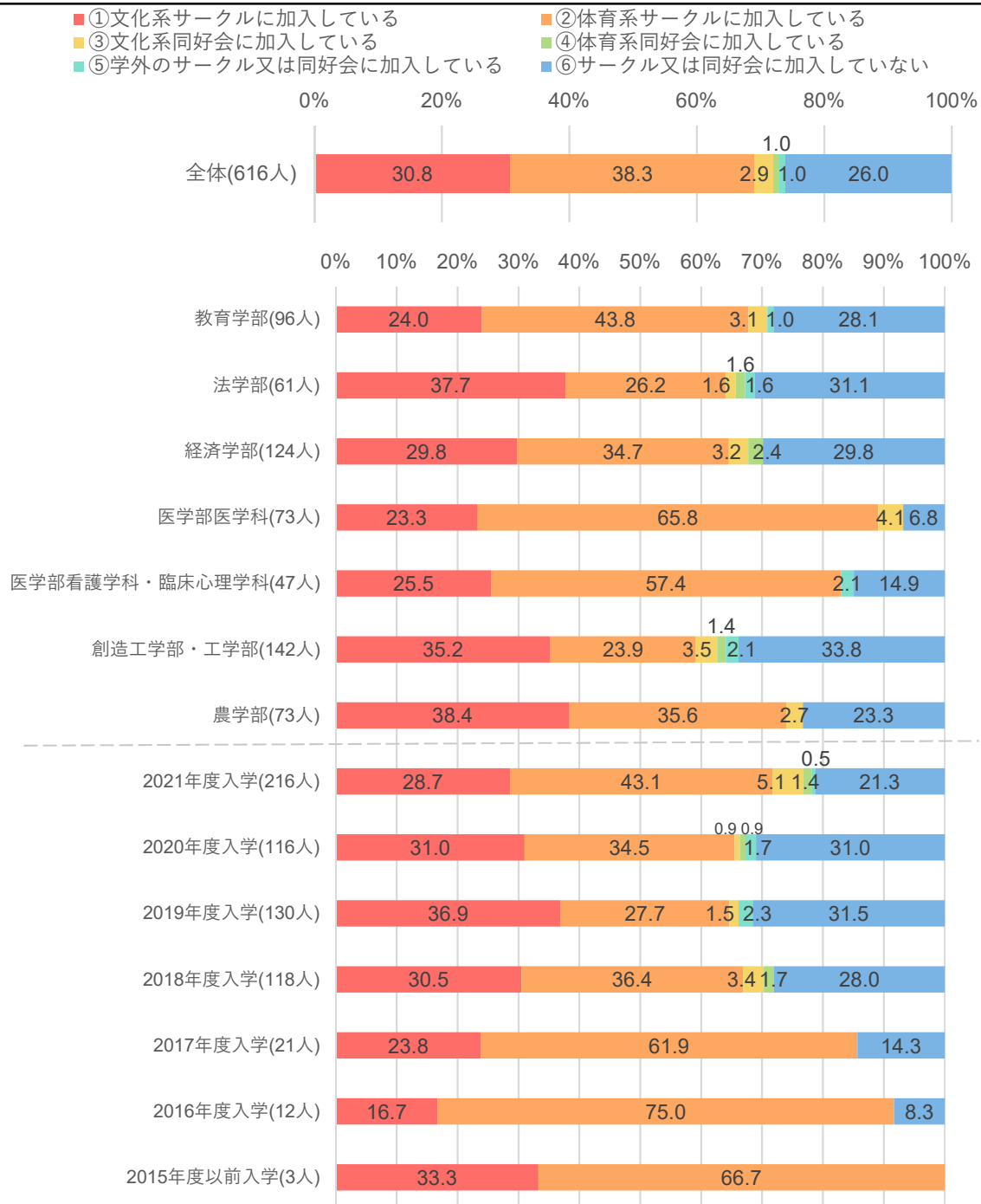


2 課外活動

(1) サークルへの加入

問29 あなたはサークル又は同好会に加入していますか。

どの入学年度の学生もその7~8割がサークル又は同好会に加入しています。同好会よりもサークルに加入している学生の方が圧倒的に多くなっています。標本数が少ない2015~2017年度入学生を除くと、文化系・体育系サークルに加入している学生の割合はあまり変わりません。医学部は他学部比べてほとんどの学生がサークル又は同好会に加入していますが、医学部以外では、約3割の学生が加入していません。



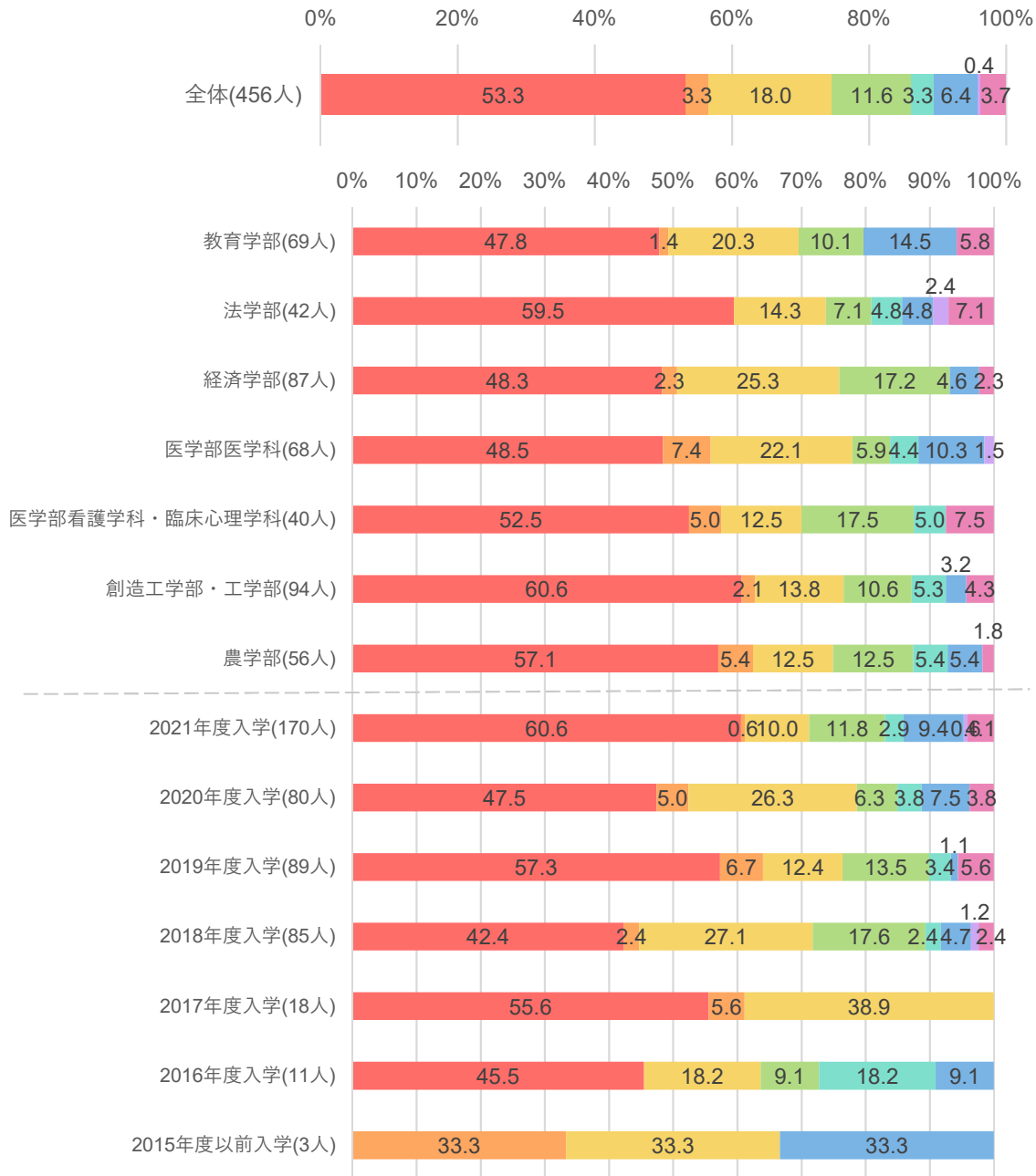
(2) サークル加入の動機

問30から問32まで、現在サークル又は同好会に加入していると回答した方におたずねします。

問30 加入した動機は何ですか、次のうちから一つ選んで教えてください。

サークル又は同好会への加入動機としては、どの入学年度の学年においても「活動内容に魅力があった」と回答した学生が全体の約5割を占めています（標本数が少ない2015年度以前入学生を除く）。その次に「友人を得るため」が続きます。2018年度入学生と2020年度入学生では、「友人を得るため」と回答した学生の割合が2019年度入学生と2021年度入学生よりも2倍以上高くなっています。学部間で加入動機の割合には大きな違いは見られませんが、教育学部、経済学部、医学部医学科では、「友人を得るため」と回答した学生の割合が他学部よりも若干高くなっています。

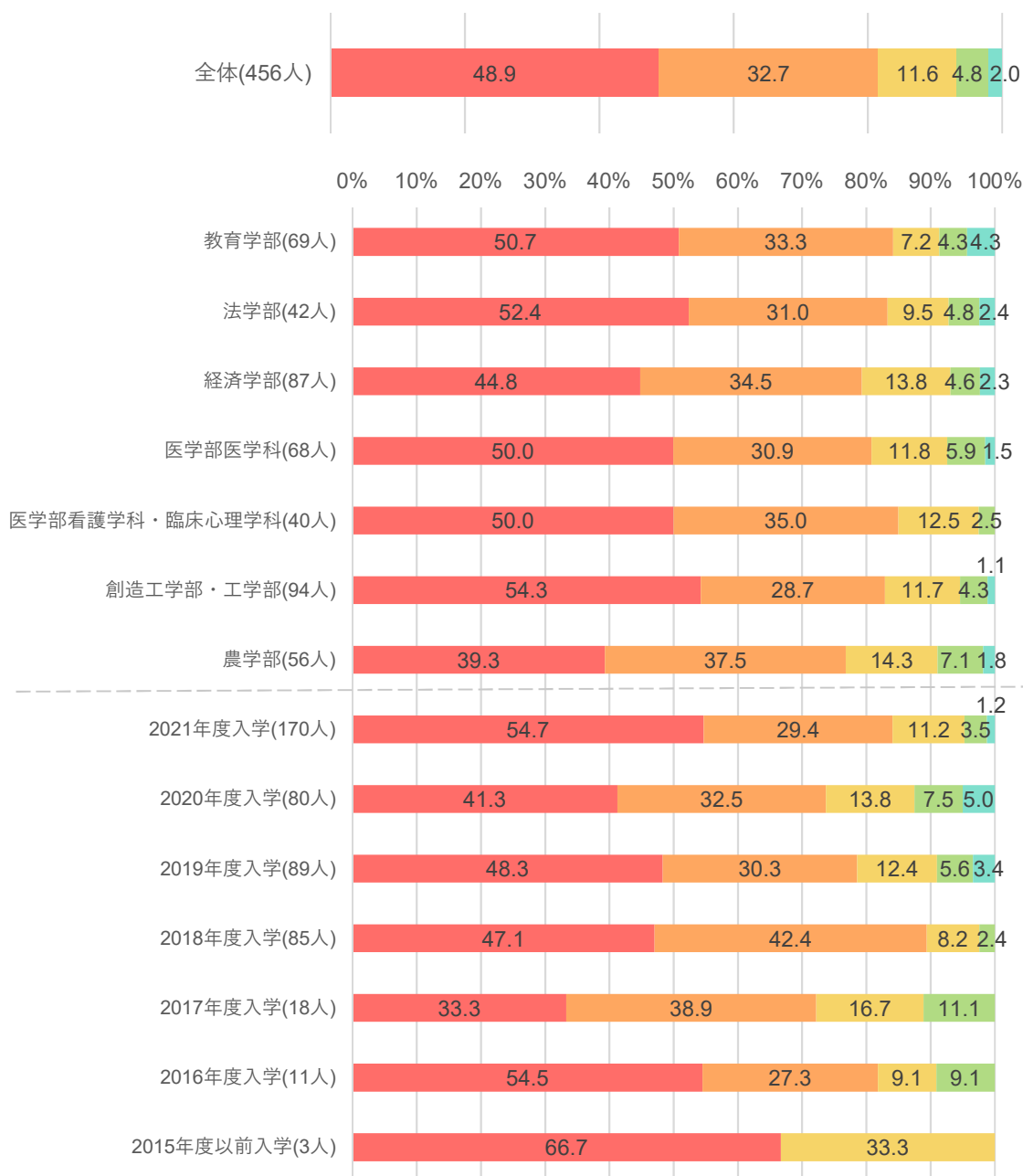
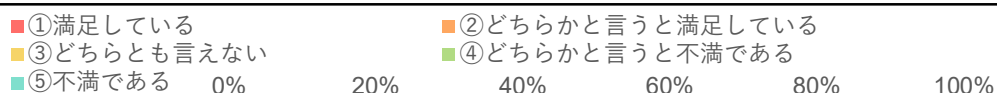
- ①サークル又は同好会の活動内容に魅力があったから
- ②集団活動に魅力があったから
- ③友人を得るため
- ④先輩・友人に勧められて
- ⑤健康増進のため
- ⑥自分の特技を伸ばすため
- ⑦自分の短所を補うため
- ⑧その他



(3) サークルの感想

問3 1 サークル又は同好会に参加してどのような感想を持っていますか。

どの入学年度の学年でも、7割以上の学生がサークル又は同好会の活動に満足感を抱いています。その傾向は学部によって大きく異なることはありません。

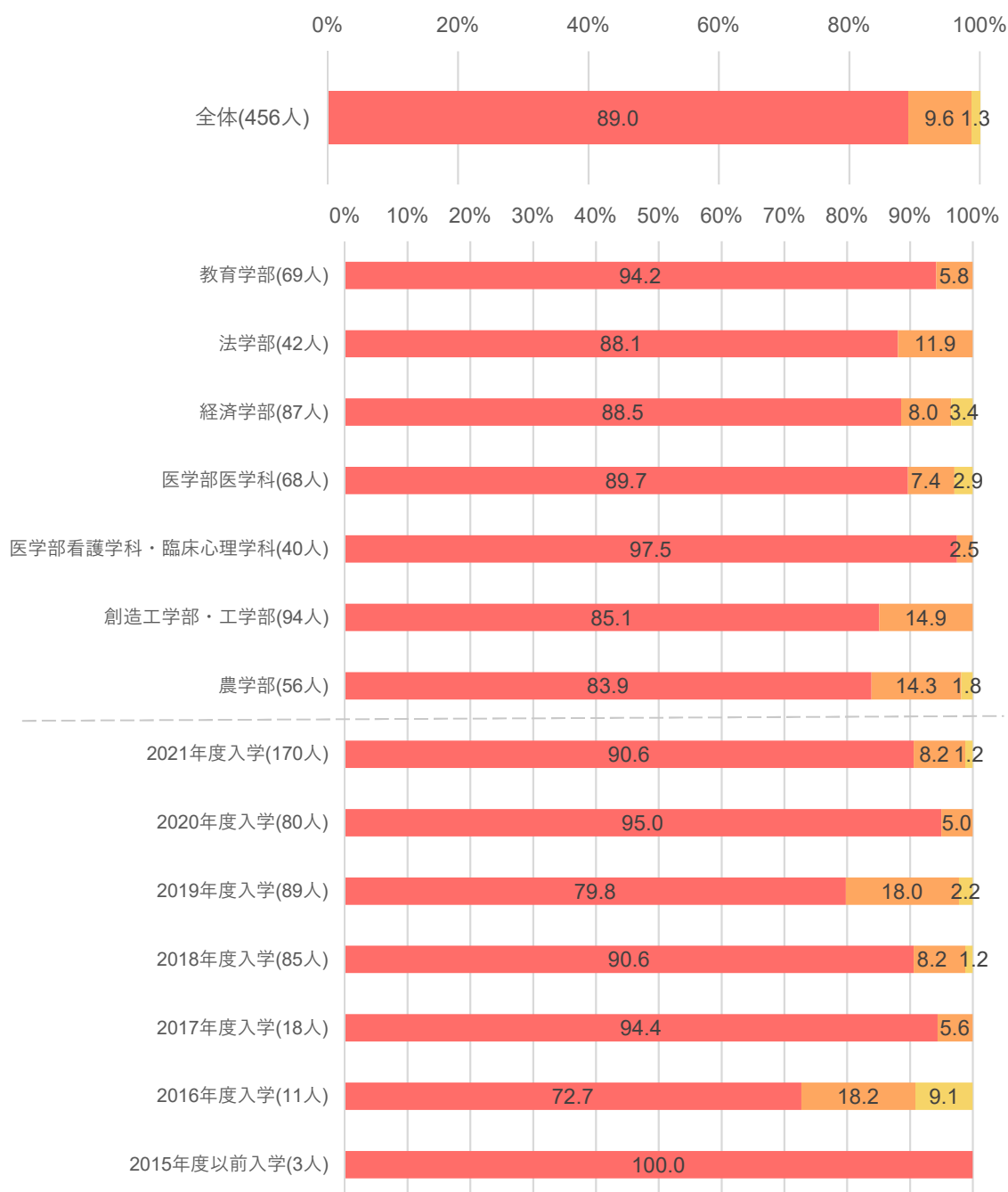


(4) 学業との両立

問3 2 あなたはサークル又は同好会の活動と学業を両立していますか。

2019年度入学生と2016年度入学生を除くと、9割以上の学生がサークル又は同好会の活動と学業を両立していると回答しています。どの学部でも8割以上の学生にそれらの両立が見られますが、農学部と創造工・工学部では他学部に比べて「学業と両立している」と回答した学生の割合が若干低くなっています。また、経済学部・医学部医学科・農学部では少数ではありますが、サークル又は同好会の活動によって「学業がかなり犠牲になっている」と回答している学生が見られます。

■①学業と両立している ■②学業が少し犠牲になっている ■③学業がかなり犠牲になっている



(5) サークルに加入しない理由

問33 あなたがサークル又は同好会に加入していない理由は何ですか。

標本数の少ない2015～2017年度入学生を除くと、サークル又は同好会に加入しない理由として、「個人の自由が束縛されるおそれがある」、「時間的余裕がない」、「魅力的なサークルがない」と回答している学生の割合が高くなっています。また、標本数が少ない医学部を除くと、サークル又は同好会に加入しない理由として、教育学部・法学部では「個人の自由が束縛されるおそれがある」、「時間的余裕がない」と回答した学生の割合が高くなっていますが、創造工学部(&工学部)・農学部では「魅力的なサークルがない」と回答している学生の割合が他の学部比べて高くなっています。

- ①学業の妨げとなる
- ②練習がいやである
- ③個人の自由が束縛されるおそれがある
- ④時間的余裕がない
- ⑤魅力的なサークルがない
- ⑥その他

